

消化器内科コース

主たる研修病院 (所属病院)		東京都立駒込病院
連携して研修する病院・施設(予定)		東京都立多摩総合医療センター
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)		令和9年4月時点で、以下のすべての要件を満たしている方 ① 日本内科学会認定 内科専門医(取得予定:取得条件を満たしている)であること。 ② 後期研修修了していること。
コース 責任者	氏名(所属)	飯塚 敏郎 (消化器内科)
	資格名	日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会専門医・指導医 日本大腸肛門病学会専門医・指導医
	専門分野	消化管癌の診断・治療、特に早期癌のESD
臨床指導体制		・消化器内科を必修する。 ・指導医含め3名程度で一人の患者を受け持ち、入院患者の担当医として研鑽する。 ・各臓器ごとのカンファレンス、カンサーボードを通じて専門的知識を習得する。 ・Clinical questionを模索し、その回答のための臨床試験を計画し、実施する。 ・臨床研究と論文作成の指導を行う。
臨床 研究	これまで 行ってきた 研究と実績	・咽頭表在癌の内視鏡的治療(Gastrointestinal Endoscopy, Endoscopyなどに報告) ・食道表在癌に対するESD時のPGAシートを用いた狭窄予防(Endoscopyなどに報告) ・全周性食道表在癌ESD後のステロイド投与による狭窄予防(Dis of the Esophagusに報告) ・胃癌ESD後のPGAシートを用いた後出血予防 ・大腸癌T1b癌の組織型診断を用いた治療方針(Digestive Endoscopy Openに報告) ・閉塞性大腸癌に対するbridging therapyとしてのステント挿入(Progress of Digestive ENdoscopy他に報告) ・EUSを用いた深達度診断とInterventinal EUSとしての治療介入 ・SPACE(連続腓液細胞診)や画像診断での早期膵癌発見
	今後行う 研究と 研究体制	・GERDにおける内視鏡治療 ・拡大内視鏡での血管配列による癌の診断精度に関する研究 ・ピュアスタートによる後出血予防効果に関する研究 ・大腸癌T1癌のリンパ節転移予測因子に関する研究 ・大腸ESDの手技向上に寄与するマルチループトラクションに関する研究 ・閉塞性大腸癌におけるカバードステントの有用性に関する研究 ・膵管の形態における早期膵癌の診断に関する研究 ・Virtual realityを用いてのESDトレーニングモデルの開発とその有効性の評価 ・LSBE内における早期Barrett腺癌の診断
研修項目		(1)担当医として入院患者を担当し外来診療・救急診療に携わる。 (2)上下部内視鏡検査 (3)内視鏡治療を術者または助手として年間50件程度 (4)学会・研究会での発表:年間3回以上 (5)英文を含む論文執筆:年間1編以上 (6)臨床研究の立案と実行 (7)ジュニアレジデント及びシニアレジデントの指導
研修内容・達成目標		(1)上下部内視鏡検査診断能力の向上 (2)上下部内視鏡検査を独立して施行できる技術修得 (3)ESD手技の習得 (4)日本消化器病学会専門医・日本消化器内視鏡学会専門医を取得できる能力を得る。 (5)消化器関連の臨床研究を行い、国際学会発表、英文論文を作成する。
コース内容に関する 問合せ先		飯塚 敏郎 (消化器内科部長) TEL:03-3801-2103(代表)